

### LRI Africa

私たちはロンドンを拠点とし、お客様のアフリカにおけるビジネスをご支援いたします。

### LRI Africa Database

弊社のお客様がアフリカ市場に参入できない理由として、しばしば言及される理由の1つが、人材不足である。この問題に 대응するため、弊社ではアフリカの専門家のデータベースを構築しました。これらの専門家はアフリカでビジネスを行うために必要とされる知識とスキルをもったインハウスのコンサルタントとして、お客様のチームの一員として活動いたします。彼らは弊社の専門職業責任保険 (professional indemnity insurance) の対象となると共に、必要に応じて、弊社のロンドンオフィスが支援を行います。どのような専門家がいて、データベースにアクセスしてご覧下さい。

[www.LondonResearchInternational.com/Africa](http://www.LondonResearchInternational.com/Africa)

#### 入札情報：アフリカ開発銀行

1. モンバサ-ナイロビ送電事業：400/220kV 変電所 (マリアカニ、ケニア)

<http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-related-Procurement/Kenya%20-%20The%20Mombasa-Nairobi%20Transmission%20Project%20-%2020400-220kV%20Mariakani%20Substation%20-%20SPN.pdf>

2. ビクトリア湖給水・衛生プログラムフェーズ2 (LVWATSAN II)：ントウガモ県 (ウガンダ) における水道設備・衛生施設建設

<http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-related-Procurement/Uganda%20-%20Lake%20Victoria%20Water%20Supply%20and%20Sanitation%20Program%20-%20Construction%20of%20Ntungamo%20Municipality%20Water%20Supply%20and%20Sanitation%20System%20-%20SPN.pdf>

### アフリカ諸国のリスク評価

「アフリカは投資をするにはリスクが高すぎる。」といった概念が依然として根強く残っている。しかしながら、そのような否定的な概念は、根拠のないものになりつつある。下記の表はエコノミスト・インテリジェンス・ユニットによる、アフリカ及びその他の地域のいくつかの国々の最新のリスク評価である。これによると、ガボン、南アフリカ、モザンビーク、アルジェリア、モロッコ、モーリシャスを含む、多くのアフリカ諸国のカントリーリスクはスペイン、ポルトガル、中国と同じ BB あるいはその1つ下の B で、ナミビアとボツワナは共に BBB と、これら3カ国よりも投資環境は良いと言える。

国名	ソブリン リスク	通貨 リスク	金融部門 リスク	政治 リスク	経済構造 リスク	カントリー リスク
アフリカ						
アンゴラ	BB	BB	CCC	B	B	B
赤道ギニア	B	B	B	CC	B	B
ガボン	BB	BBB	BB	B	B	BB
ガーナ	B	BB	B	BB	CCC	B
ケニア	CCC	B	CCC	CC	CCC	CCC
モザンビーク	B	BB	BB	BB	CCC	BB
ナイジェリア	B	BB	B	CC	BB	B
コンゴ共和国	CC	CCC	CC	C	CC	CCC
南アフリカ	BB	BB	BB	BBB	BB	BB
タンザニア	B	BB	B	B	CCC	B
ナミビア	BBB	BBB	BBB	BBB	BBB	BBB
ボツワナ	A	BBB	BBB	A	BB	BBB
カメルーン	B	BB	B	CCC	CCC	B
モーリシャス	BB	BB	BB	A	B	BB
エジプト	CCC	B	B	CCC	B	CCC
リビア	B	B	B	C	B	B
アルジェリア	BB	BB	B	B	BB	BB
モロッコ	B	BB	BB	B	B	BB
チュニジア	CCC	B	CCC	CCC	B	CCC
ヨーロッパ						
フランス	A	BB	A	AAA	A	A
スペイン	BB	BB	BB	BBB	BB	BB
ポルトガル	BB	BB	BB	BBB	B	BB
ギリシャ	CCC	BB	B	CCC	CCC	CCC
イギリス	BBB	A	A	AA	BBB	A
アジア						
中国	BBB	BBB	B	B	A	BB
日本	BBB	A	A	AA	BBB	A

出典：The Economist, 2013. Countries [Online]. Available at: <http://www.eiu.com/default.aspx> [Accessed: 19th August 2013].

#### LRI Africa ニュースレター

LRI Africa では、弊社のお客様、及びニュースレター読者の皆様に、アフリカビジネスへの理解を深めていただくために、毎月ニュースレターをお送りいたします。同ニュースレターでは、今日のアフリカにおけるビジネスの機会（可能性）とリスク（あるいは課題）等について取り上げます。多様な視点から切り込むため、統計データだけでなくアフリカビジネスのステークホルダーのインタビューも掲載します。読者の皆様からご意見・ご要望等ございましたらぜひお知らせ下さい。

## LRI Africa の目的とサービス

冷戦終結からかなりの歳月を経て、アフリカにもやっと政治的安定が根づいてきました。また近年の天然資源の発見により、アフリカにも富がもたらされ、近年の発展ぶりには目ざましいものがあります。アフリカ開発銀行によると、アフリカ経済は他のどの地域経済よりも速いペースで発展しており、現在の1兆2,000億ドルのGDPは2020年までに2倍以上の2兆6,000億ドルに伸びると予想されています。また、アフリカの労働力は2040年までに世界最大の11億人に達する見込みで、これはインドと中国の労働者人口を上回ります。

国際企業にとってアフリカは将来も成長が望める市場にもかかわらず、実際にアフリカ市場に参入した企業は決して多くありません。それはアフリカについての知識不足の影響も多少ありますが、最大の原因は現地でのサポート体制の欠如にあります。ブライスウォーターハウス・クーパース(PwC)のような、いわゆる「ビッグ4」はアフリカ各国に現地オフィスを構えて企業に戦略的なアドバイスをしていますが、今後アフリカ参入を目論む企業は、広範囲で、より細かなサービス、例えば、ビジネスパートナー探し、マーケティング、プロジェクトマネジメント、人材探し等、を必要とするでしょう。そしてもちろん、これらのサービスはアフォーダブルな価格で提供されなければなりません。LRI Africa では、顧客の皆様がアフリカに参入し現地市場でプレゼンスを高めるために必要な全てのサポートを提供いたします。以下のサービスが含まれます。

- アフリカの全ての国とセクターに関するリサーチ
- プロジェクト発掘、計画策定、フィージビリティスタディからプロジェクト実施とモニタリングまでのプロジェクトマネジメント
- 顧客企業へアフリカ専門家を社内コンサルタントとして派遣、LRI Africa 人材データベースへの無料アクセス提供

LRI Africa に対する皆様からの積極的なお問い合わせをお待ちしております。

## アフリカでの課題

リスク要素では改善してきているものの、国際企業がアフリカで事業展開するにあたっての困難な課題はまだ残されている。世界銀行の最新の「ビジネスのしやすさ指標」(Ease of doing business index)によると、南アフリカはアフリカ諸国の中で最高の39位(185カ国中)に位置しており、これにルワンダ(52位)、ボツワナ(59位)、ガーナ(64位)、ナミビア(87位)、ザンビア(94位)、モロッコ(97位)が続く。中国が91位という点を考慮すると、これらアフリカ諸国の状況は極端に悪くはないと言える。しかしながら、国際企業はアフリカのどの国であろうが、必ず課題に直面することになる、ということを理解しておく必要がある。以下は、南アフリカで事業展開するビジネス向けに World Business Culture が作成したアドバイスである。(World Business Culture, 2013. "Doing Business in South Africa" [Online] Available: <http://www.worldbusinessculture.com/Doing-Business-in-South-Africa.html> [Accessed: 22nd August 2013])

- 南アフリカはGDPで見るとアフリカ1の富裕国であるが、世界の大先進国とは比較にならない。
- 多くの地域が開発により急速に変化しているが、その裏で依然として貧困が存在する。注目が集まるのは産業開発や経済発展といった分野に限定されている。
- 南アフリカの政局は近隣諸国と異なり比較的穏やかに推移している。しかしながら、アパルトヘイト制度から、より包括的な経済構造への移行が遅れているため、一般市民はこの状況を不安定なものと考えている。投資家は、黒人の人材育成を推進する「アフーマティブアクション」政策について精通しておく必要がある。
- 経営のスタイルや洗練さ、組織構造はそれぞれの企業ごとに異なる。世界中で統一された社風を持つ国際企業と比べて、個人経営の中小企業では物事の進み方がより遅く、煩雑な手続きも多い傾向がある。
- 組織構造については縦のヒエラルキーは少なく、シニアマネージャーが詳細に渡りマネージする傾向がある。マネージャーは部下ともっとコミュニケーションを取り権限を与えるよう圧力がかけられているが成功していない。経営陣はたいてい男性で占められているが、女性の進出もゆ

っくりであるが進んでいる。マネージャーは堂々として、個々のタスクが完了するよう全てについて把握していることが求められる。ただし独裁スタイルの経営は歓迎されない。

- 現地のビジネス生態系について理解を深めておくことは投資家にも求められる。現地の取引先は、投資家が現地ビジネスの現状を熟知した上で、ビジネスの機会を求めているとみなす。
- 現地のビジネスパートナーは長期的なパートナーシップの構築を望んでいる。ご都合主義の投資家と見られないよう、長期間に渡りビジネスを行う意思があることを強調すべきである。懇親の場は主にレストランやバーで、社員宅でのホームパーティは稀である。
- ビジネスチームは人種の分け隔てなく編成され、白人と黒人の他、ブルー族やコーサ族といった異なる部族が一緒に働くこととなる。
- 日常会話では現地方言も使われるが、ビジネス公用語は主に英語である。時間にはルーズなところがある一方、服装はフォーマルの傾向がある。
- ビジネスの場でもユーモアのセンスは大いに好まれ、深刻な場面で緊張をほぐす際によく使われる。

## LRI Africa のコンサルタントご紹介

### ウゾマ・オジケ博士 (Dr Uzoma Ojike)

オジケ博士はインペリアルカレッジ(ロンドン)で生態系サービス及び環境アセスメントの博士号を取得した、LRI Africa の環境問題専門家です。微生物学者の資格を持つ同博士は、生態系サービス、ステークホルダーエンゲージメント、環境アセスメント、環境アセスメント及び意思決定における地理情報システム(GIS)の応用、といった分野の知識と経験を持ちます。同博士は「持続的な移行(Sustainable Transitions)」の分野に大変注目しており、これには政策決定や意思決定に生態系サービスを結びつけるための戦略の開発などが含まれます。

### オジケ博士の専門分野

- 環境アセスメント(EIA)
- 廃棄物管理
- 空間計画・土地利用計画・汚染土地

Stay in touch  
with LRI

Follow on Twitter



Join on Facebook



- 地理情報システム (GIS) を用いた空間分析
- ステークホルダーエンゲージメント
- キャパシティデベロップメント
- プロジェクトマネジメント

リチャード・オショウォル (Mr Richard Oshowole)

プライスウォーターハウスクーパーズ (PwC) ナイジェリアの元 Director のオショウォル氏は、組織改善、プロジェクト・チェンジマネジメント、ビジネスプロセスリエンジニアリング (BPR)、実践技術といった分野で 20 年以上の経験を持つマネージメントコンサルタントです。これまで英国企業やグローバル企業のシニアコ

ンサルタントとしてヨーロッパ、アフリカ、アジアの公共・民間セクターの顧客にアドバイスしてきたほか、2000 年以降は、企業再建、BPR、ナイジェリア中央銀行再編 (EAGLES 計画)、ナイジェリア鉄道の事業活性化、同国財務省における公共サービス改革パイロット計画等、多くのプロジェクトに従事してきました。

オショウォル氏の専門分野

- 組織改善
- プロジェクト・チェンジマネジメント
- ビジネスプロセスリエンジニアリング
- 実践技術

LRI では弊社が運営する Green Tech Europe.com (GTE) を通じて、アフリカを含めた全世界に優れたエネルギー・環境技術を展開するためのサポート活動を行っています。最新のエネルギー・環境技術情報を無料でご紹介する GTE サイトをご覧ください。



**LRI が過去 3 年間にリサーチ・コンサルティングを実施したアフリカ諸国**

アンゴラ、赤道ギニア、ガーナ、ガボン、カメルーン、ナイジェリア、コンゴ共和国、南アフリカ、ケニア、モザンビーク、タンザニア、エジプト、リビア、アルジェリア、モロッコ、チュニジア

London  
Research  
International



Elizabeth House, First Floor, Block 2  
39 York Road  
London, SE1 7NQ  
Tel: +44(0)20 7378 7300 Fax: +44(0)20  
7183 1899